

病院の 実力

～青森編 42

今回の「病院の実力」は、精神科のうつ病治療を特集する。調査は、日本精神神経学会の研修施設に認定されている病院など1465か所を対象に実施し、305施設から回答を得た。

うつ病は、▽抑うつ気分がほとんど1日中、毎日続く▽物事への興味や喜びが感じられなくなる▽不眠や睡眠過多がほとんど毎日ある——といった症状が表れる。症状が悪化すると、休職や自殺にもつながる。

治療は、抗うつ薬による薬物治療が中心。しかし、病の

うつ病

病院の実力「うつ病」

医療機関別治療実績（読売新聞調べ）

医療機関名	新規患者数 (人)	実施した 精神療法	復職支援プログラム のうつ病患者 参加数
青森 十和田市立中央	347	認 対 分 家	—
弘前大	100	認 対	0
弘前愛成会	93	認	0
県立つくしが丘	80	認 対 家	0
岩手 ふじメンタルク	210		5
県精神保健福祉セ	18		0
秋田 秋田大	110	他	0
加藤	74	認 家	2
大館市立総合	51	認 家	—
県立リハビリテーション精神	38	認 対 家	2
清和	9		—

「セ」はセンター、「ク」はクリニック。実施した精神療法の「認」は認知行動療法、「対」は対人関係療法、「分」は精神分析的治療、「家」は家族療法、「他」はその他の方法。「—」は不明または無回答。

背景には仕事や人間関係、金銭面などの悩みがある場合が多く、これらを改善しないと十分な回復は難しい。そこで一覧表には、新規患者数に加え、薬物以外の治療（精神療

法）の実施状況を載せた（2010年実績。患者の話を共感しながら聞く、一般的な「支持的精神療法」は除く）。「認知行動療法」は、物事の受け止め方の偏りを、治

悩み改善 回復のカギ

療者との対話を通して修正していく。「対人関係療法」は、患者の情緒に最も大きな影響を与える相手との関係を、カウンセリングで修正する。「精神分析的治療」は、患者が心の奥底にしまった記憶や感情、願望などを引き出し、回復につなげる。「家族療法」は、家族を含むカウンセリングで、家族関係を修復する。

一方、復職支援プログラムは、職場の仕事を想定したパソコン操作や、参加者同士の話し合いなどを通して、患者を職場復帰につなげるのが狙いだ。表には、プログラムに昨年参加した患者数を掲載した。

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は8月7日「慢性頭痛」の予定です。

うつ病 精神療法の活用を

憂鬱うつろな気分や無気力な状態が続
き、自殺を招くこともある「うつ
病」。患者数はこの10年で2・4
倍に増え、100万人を超えた。

今回の調査は、日本精神神経学
会の研修施設1465か所にアン
ケートを行い、2010年の治療
実績などを聞いた。305施設か
ら回答があり、全国版では患者数
の多い166施設を掲載した。

治療では、抗うつ薬が使われる。
だが、会社ではうつ状態がひどい
のに、家では元気になる「新型(現
代型)」と呼ばれるうつ病には、
抗うつ薬が効かないことが多い。
脳の働き自体は正常だからだ。

日本うつ病学会理事長で九州大
教授の神庭重信さんは「新型」に見
えても、実は脳に原因があると思
われる患者もいるが、どのような
タイプでも精神療法(心理療法)

病院の 実力

107

を活用したい」と話す。

精神療法は、患者の話に共感し
ながら耳を傾ける「支持的精神療
法」が一般的。このほか、物事の
受け止め方の偏りを修正する「認
知行動療法」、良好な人間関係作
りを目指す「対人関係療法」、患
者が心の奥底にしまった記憶や感
情などを引き出して回復につなげ
る「精神分析的治療」、家族を含
むカウンセリングで家族関係を修
復する「家族療法」などがある。
今回の調査では、各医療機関が

「新型」は薬効かないことも

10年に実施した精神療法(支持的
精神療法を除く)を聞いた。国立
精神・神経医療研究センター認知
行動療法センター長の太野裕さん
は「精神療法を幅広く行う施設は、
治療の選択肢が少ない施設より好
ましい」と語る。精神療法は、健康
保険がきかない施設もあるので事
前に確認してほしい。

復職支援プログラムも、早期の
職場復帰や再発防止に欠かせな
い。参加者数は少なくとも、外部
の支援センターと連携して成果を
上げる施設もある。(佐藤光展)

回答修正 6月5日の「病院の実
力 災害拠点病院」で、病院の申し
出により、「東京 順天堂大」「福
岡 国・福岡東医療センター」の耐
震性を、「非耐震」から「一部耐震」
に修正します。

来週は「ケアノート」です

くらし
健康

主な医療機関のうつ病治療実績

①新規患者数
②実施した精神療法(認=認知行動療法、対=対人関係療
法、分=精神分析的治療、家=家族療法、他=その他)
③復職支援プログラムの年間参加者数
(いずれも2010年実績)

Table with multiple columns listing medical institutions across various regions (e.g., 北海道, 東京, 大阪) and their performance metrics for depression treatment. Columns include institution name, patient count, and treatment methods.

「国・」は独立行政法人国立病院機構、「セ」はセンター、「ク」はクリニック、「一」は無回答または不明